

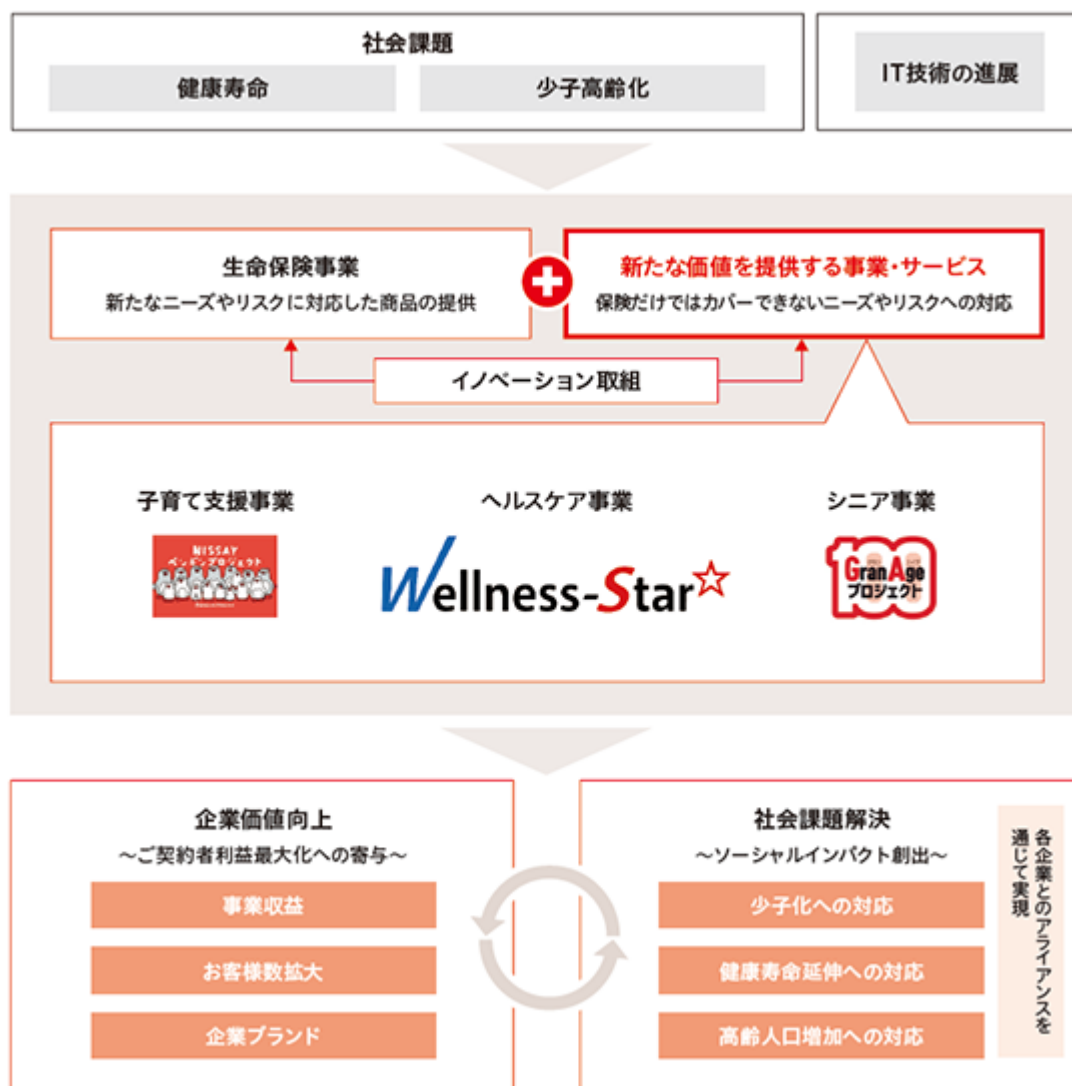
新規事業

新規事業に取り組む意義

当社は相互会社として、ご契約者利益の最大化に資するため、事業を多角化させてきました。

特に新規事業の領域では、事業成長に加え、相互会社としての公共性発揮が求められる中、少子高齢化や健康寿命延伸を中心とした中長期的な環境変化に対し、子育て支援事業やヘルスケア事業、シニア事業、イノベーション開発を通じて、保険だけではカバーできないお客様のニーズやリスクに対応してきました。

今後も、あらゆる世代が安心して暮らせる社会の実現に向けて、企業価値の向上と各企業とのアライアンスを通じた社会課題解決の好循環を目指していきます。



新規事業

子育て支援事業

当社は、永きにわたり子どもたちの未来を応援する活動に積極的に取り組んできました。

近年、子育てを取り巻く環境が大きく変化する中、子育ての壁や不安を当事者だけが抱えるのではなく、“みんなで子どもを育てる社会”を実現したいと考え、2022年3月から「NISSAYペンギンプロジェクト」を推進しています。

取り組みの一つとして、一般企業等や地域住民も含めた子育て世代の方々が、企業主導型保育所を活用できる環境を整備していくことで、待機児童問題の解決に貢献するとともに、女性の活躍推進を一層支えていくことを目指しています。



ペンギンプロジェクトはこちら 

■ ニチイ学館との企業主導型保育所の全国展開

2017年4月からニチイ学館と協働で企業主導型保育所の全国展開を開始し、現在ニチイ学館が運営する全都道府県約90カ所の保育所を利用しています。



■ 全国の企業主導型保育所と企業・従業員を繋ぐインフラを構築

企業主導型保育所領域における当社の貢献を一層進めるべく、安定稼働に悩む企業主導型保育所と保育所探しに悩む子育て世代の企業の従業員を仲介する取組を2020年1月より本社会社のライフケアパートナーズにて展開しており、2023年3月までに113社の企業と、717カ所の保育所にご利用いただいております。今後も、多様化するニーズに応える新たな価値提供を目指し、これまでの取組みの発展、および、子育て世代に寄り添ったサービス展開の検討を進めてまいります。



■ 社内起業プロジェクトから生まれた子育て支援サービス“ちょこいく”を通じた社会課題解決

当社は、新規事業創出に向けた取り組みの1つとして、当社職員が新規事業のアイデア創出から事業化までを行う「社内起業プロジェクト」を2020年度から実施しています。当プロジェクトにおいて、一時保育マッチングサービス「ちょこいく」が選出され、子育て世帯の皆様にご利用いただけるよう、事業化の準備を進めております。

「ちょこいく」は、子育て世帯と一時保育の提供が可能な保育所をマッチングするサービスです。当サービスを通じて、産後うつ、ワンオペといった子育てに関する社会課題解決に取り組んでまいります。

「ちょこいく」はこちら 



新規事業

ヘルスケア事業

ヘルスケア領域に取り組む意義

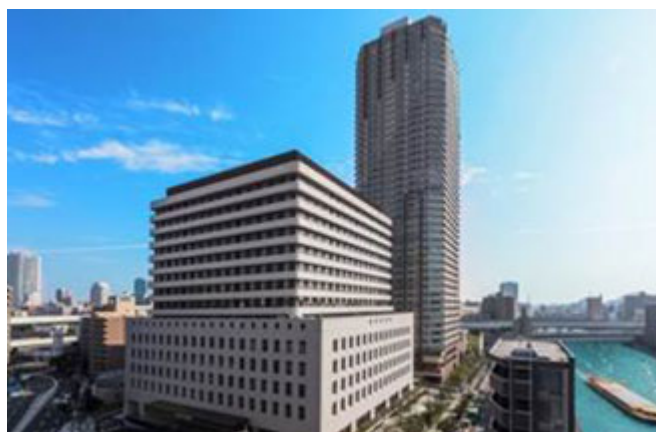
「人生100年時代」を迎える中、一人ひとりが安心して自分らしく過ごせる社会づくりをサポートするために、2017年よりヘルスケアの取り組みを本格展開しています。「リスクに備える」保険に加えて、「リスクを抑える」ヘルスケアサービスを提供し、健康な方から健康不安のある方まで幅広いお客様を支援することで、健康寿命延伸への貢献を目指しています。



■ 日本生命済生会（日本生命病院）

日本生命済生会は、1924年当社によって『相互扶助』『共存共栄』という生命保険事業の精神を実践する場として設立されました。設立当初より「済生利民（生命や生活を救済し人々のお役に立つこと）」を基本理念とし、2012年4月には、地域に対して「予防・治療・在宅まで一貫した総合的な医療サービス」を提供してきたことが評価され、大阪府より公益財団法人として認定を受けました。

緒方洪庵ゆかりの名門緒方病院の土地建物を継承し、1931年、日生病院を大阪市西区に開院しました。現在では、29診療科、350病床を有し、高いレベルの医療を提供しています。そして、2018年4月30日には、前病院から近隣にある西区江之子島に新病院を新設移転するとともに、「日本生命病院」と名称変更しました。これからも、地域・社会のニーズにより一層お応えできる病院を目指してまいります。



▲新病院外観

(公財)日本生命済生会 日本生命病院 >

■ 大学・パートナー企業との共同取組み

大企業やスタートアップ企業など、企業の規模にかかわらず、先進的な技術や革新的なアイデアをお持ちの企業と連携させていただくことで、より魅力あるヘルスケアサービスをご提供できると考えています。当社ではこれまでに、サリバテック社、シェアデザイン社、MICIN社といったヘルスケア・健康増進関連の事業を展開する企業に、連携強化を目的とした投資を行ってまいりました。こうした企業と連携を深め、お客様の健康寿命の延伸に役立つサービスを開発してまいります。



加えて、学術機関との連携にも取り組んでいます。東京大学・東邦大学とのメンタルヘルス領域での共同研究の取組を通じて、企業の人的資本経営のサポートに資するサービス開発に取り組んでいます。さらには東北大学・仙台放送社と眼疾患の早期発見に向けた取り組みを開始するなど、共同取組みは多岐にわたります。保険者のみならず、企業にも幅広くサービスを提供することで、従業員の健康維持・予防に、より一層貢献していきます。

また、大阪大学のプラットフォーム「産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ」に参画し、今後、双方が持つ医療ビッグデータ等を活用しながら、健康増進・健康寿命延伸や民間保険の商品・サービス強化に向けた共同研究に取り組んでまいります。

ご契約者様限定サービス

【ずっともっとサービス】

ハートフルサポートメニューでは、健康・介護・育児の無料相談や、健康に関する各種優待等、さまざまな場面でお役に立つサービスがご利用いただけます。



健康・介護・育児の無料相談や健康に関する各種優待等、さまざまな場面でお役に立つサービスがご利用いただけます。

「ハートフルサポートメニュー」

ヘルスケアサービス

【ニッセイ健康増進コンサルティングサービス（Wellness-Star☆）】

企業・健康保険組合など、団体様向けに「ニッセイ健康増進コンサルティングサービス（Wellness-Star☆）」として、団体の健康課題を可視化する「データ分析サービス」と、構成員の生活習慣を改善する「健康施策」を提供しています。



【データ分析サービス】

健康保険組合などの保険者から健康診断の結果やレセプトデータをお預かりし、保険者・事業所単位で健康課題を可視化、分析できる様々なレポートを作成・提供しています。

加えて、2023年1月より、「第3期データヘルス計画支援レポート」の提供を開始しています。2024年度より、第Ⅲ期データヘルス計画が開始される予定であり、保険者においては、健康診断の結果やレセプトデータの分析に基づいて、保険事業をPDCAサイクルで効率的・効果的に実施することが求められています。当レポートの提供を通じて、保険者のデータ分析・健康課題の可視化・事業計画の策定・振り返り、といった取り組みをトータルでサポートしています。

【健康施策】

データ分析サービスで団体の健康課題を可視化する中で見えてきた課題への対応策として、健康施策を提供して欲しいというお客さまのニーズを踏まえ、2020年7月より日本生命病院をはじめ様々な企業と連携したサービス、「糖尿病予防プログラム」を提供しています。当サービスは糖尿病予備群を対象とした3か月間のプログラムとして、様々なICT機器を活用しながら自身の体の状態・活動量・食事等を確認しつつ、日本生命病院やライフケアパートナーズ等の保健師による遠隔での生活習慣指導を提供しています。



また、2021年8月からは、「血糖変動チェックプラン」の提供を開始しています。健康な方から健康に不安のある方まで幅広い方を対象に、ICT機器を活用した2週間の血糖変動のセルフモニタリングと、日本生命病院による健康アドバイスを提供しています。



包括的連携協定



包括的連携協定を通じた地域の活性化 >

地域が抱える社会課題に対して、自治体と日本生命が双方の強みを生かし協力しながら課題解決に対応する枠組み。日本生命は多くの都道府県との包括的連携協定の締結を進めています。



スマート・ライフ・プロジェクト >

※ここから先は外部サイトへ移動します。

日本生命は厚生労働省主催の健康寿命をのばす運動（スマート・ライフ・プロジェクト）に参画しています。



日本生命所属選手によるスポーツ教室の開催 >

日本トップクラスの選手を擁する当社野球部と女子卓球部が、全国の子どもたち等を対象に「野球教室」「卓球教室」を開催しています。

ねんりんピック

ねんりんピック（全国健康福祉祭） >

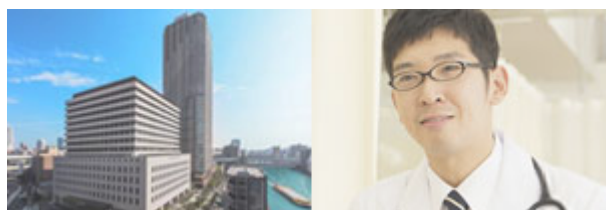
※ここから先は外部サイトへ移動します。

60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典。日本生命は第29回長崎大会以降、ねんりんピック大会に協賛しています。



病院・大学・パートナー企業との連携

大学やスタートアップを含む様々なパートナー企業との連携により、健診・医療データの研究を推進しています。



日本生命済生会（日本生命病院） □

大阪府より公益財団法人として認定を受けており、地域に対して「予防・治療・在宅まで一貫した総合的な医療」を提供しています。

本社役職員



役職員自身の健康増進として、健康増進策の推進とワークライフマネジメントの実践を2本柱とした取組みを行っています。

本社役職員への健康取組について □

新規事業

シニア事業

■ 明るい「人生100年時代」に向けて

日本の平均寿命は年々伸長しており"人生100年"ともいえる長寿社会が到来しています。当社は、2016年4月から「人生100年時代」をお一人おひとりが「安心して・自分らしく」より豊かに生き、"明るい長寿社会"にすることをサポートする『Gran Age プロジェクト』を推進しています。当プロジェクトでは、東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）やニッセイ基礎研究所の協力のもと、ジェントロジーの考え方に基づき、魅力的な商品やご高齢のお客様・ご家族をお支えするサービスの開発等、シニアに寄り添った様々な取組を推進しています。



『Gran Age プロジェクト』の詳細はこちら [📄](#)

■ 安心して、自分らしく最期まですごしていただけるように、生前から死後までお客様をサポート

"人生100年時代"には、楽しみもありますが、「独り暮らし・社会的孤立・認知症・健康状態・死後のこと」等の不安もあります。高齢者の方々が、安心して、自分らしく最期まで過ごしていただけるように、ご家族に代わって生前から死後までをサポートするサービス「GranAge Star」を提供しております。



「GranAge Star」では、「身元保証・生活支援・任意後見・葬儀や納骨等の亡くなった後の対応」をサポートしております。（有償サービス）

『GranAge Star』の詳細はこちら [📄](#)